

第拾回講演大會及總會順序概要

第一日 四月三日(祭日、月曜日) 午前九時開會

會 場 東京市麴町區丸ノ内三丁目四番地

帝國鐵道協會々館 (二階・三階講堂)

講演會 午前之部 (講演數の都合上會場を二ヶ所に分つ)

時 間	第一部會場 (鐵道協會々館二階 大講堂)	第二部會場 (鐵道協會々館三階 大講堂)
午前 9 0- 9 05	開 會 之 辭	開 會 之 辭
9 10- 9 35	1) 本邦產鑄物砂の耐久性に就て。 (鑄物砂の研究第四報) 旅順工科大学助教授 工 學 士 松塚 清人君	5) マグネシウムを含める鍛鍊用輕合金に就て。 住友伸銅鋼管株式會社 技師 五十嵐 勇君
9 40-10 05	2) 高周波電動發電氣機使用 150 kg 高周波電氣爐の研究。芝浦製作所技師 中村 素君	6) 耐熱性アルミニウム輕合金の研究。 神戸製鋼所技師 工學士 伊丹榮一郎君
10 10-10 35	3) 壓延機のブレンパヤリングをローラパヤリングに改裝したる結果に就て。 川崎造船所製鐵工場技師 工 學 士 宗田 太郎君	7) アルミニウム亜鉛系β固溶體の共析變態に就て。 旅順工科大学教授 工學博士 今井 弘君
10 40-11 05	4) 鑄鐵の物理性質に及ぼす燐の影響に就て。 (岩元、石黒、藤井、協同研究) 横濱船渠株式會社 石黒 一彦君	8) 減磨合金に関する研究。 廣海軍工廠技師 理 學 士 田崎 正浩君

社團法人日本鐵鋼協會第十八回通常總會順序

會 場 東京市麴町區丸ノ内三丁目四番地 帝國鐵道協會々館 (二階講堂)

時 日 昭和八年四月三日 (月) 午前十一時十分

開 會 之 辭 社團法人日本鐵鋼協會々長 工學博士 河 村 曉君

議 事

- イ、昭和七年度會務報告
- ロ、昭和七年度收支決算報告
- ハ、昭和八年度收支豫算報告
- ニ、任期滿了評議員改選 (投票、開票)

服部賞牌並に服部賞金贈呈式

香村賞牌贈呈式

總 會 終 了 午後零時十分

晝 食

講演會 午後之部 午後一時十分開會

時 間	第一會場 帝國鐵道協會々館二階 大講堂	第二會場 帝國鐵道協會々館三階 講堂
午後 時 1:10- 1:25 分	9) 内部組織研究用の新らしき X 線管球と其の應用。 大阪工業大學助教授 理 學 士 篠田 軍治君	19) 窒化せる滿俺鋼の耐海水性に就て。 三菱造船株式會社研究所技師 理 學 士 佐藤 俊一君
1:30- 1:55	10) 或種ピストンリングの張りに就て。 横横船渠株式會社 工 學 士 藤井 忠二君	20) 航空發動機用曲軸鋼の選定並に其の使用狀態に就て。 陸軍航空本部々員 陸軍航空兵大尉 工 學 士 高瀬 孝次君
2:00- 2:20	11) 鐵の機械的性質に及ぼす滿俺の影響 明治專門學校教授 嘉村 平八君	27) 剪斷機刃先の製造法に就て。 八幡製鐵所鋼材部員 黑瀬 彌君

十 分 休 憩

2:30- 2:55	12) 鐵鋼に含まれる酸素の定量。(2) 東北帝國大學助教授 工 學 士 的場 幸雄君	22) 鋼の焼入效果に及ぼす特殊元素の影響。 秋田鐵山專門學校機械科員 三神 正苗君
3:00- 3:25	18) Repeated-themal-stress に依る Crack 發生現象に關する實驗。(豫報) 三菱造船株式會社研究所技師 理學博士 深川 庫造君	23) 熔融狀態に於ける酸性及鹽基性平爐鋼滓の粘性に就て。 大阪工業大學助教授 工 學 士 松川 達夫君
3:30- 3:55	14) オーステチツク鑄鐵に就て。 日本ニツケル情報局 技師 Dr. S. c. 藤原 唯義君	24) 鋼の破壊機構に及ぼすパーライトの影響。 理化學研究所 工 學 士 黒田 正夫君

十 分 休 憩

4:05- 4:30	15) 鑄鐵の熱傳導率に就て。 戸畑鑄物株式會社技師 理學博士 菊田多利男君	25) 鋼材の材力に及ぼす鍛鍊係數の影響に就て。 日本製鋼所技師 工 學 士 甲藤 新君
4:35- 4:55	16) 鐵、炭素、酸素系反應接觸劑の共通性に就て。 東北帝國大學教授 理學博士 岩瀬 慶三君	26) 金屬並に合金の折口に關する研究。 (鑄込み條件と折口) 三菱造船株式會社研究所技師 工學博士 飯高 一郎君
5:00- 5:25	17) 含珪酸貧鐵鑄の濕式處理に關する研究。 九州帝國大學教授 工學博士 井上 克己君	27) 炭素並に滿俺含有量が壓延鋼材の降伏點並に衝擊抗力に及ぼす影響。 製鐵所技師檢定課長 工 學 士 城 正俊君
5:30- 5:55	18) 人工製及び天然產酸化鐵の還元及び酸化と磁性。 旅順工科大學教授 工學博士 長谷川熊彦君 助 手 後藤 有一君	28) クロム鋼の冷却條件による變態點及顯微鏡組織の變化。 東北帝國大學教授 理學博士 村上武次郎君 東北帝國大學金屬材料研究所員 工 學 士 岸本 浩君

晚 餐 會 午後六時三十分開會

會 場 帝國鐵道協會々館 食堂

會 費 金 參 圓 也

註 (見學工場は以下の通り豫定し目下交渉中)

第二日 四月四日 (火曜日)

工場見學

第一班

- | | |
|--------------|---------------|
| A 東京製綱會社川崎工場 | 午前 9:00—10:00 |
| B 日本鋼管株式會社 | 〃 10:30—12:00 |

晝 食

- | | |
|----------------|--------------|
| C 中山鐵鋸株式會社 | 午後 1:00—2:00 |
| D 株式會社淺野造船所製鐵部 | 〃 2:30—3:30 |

第二班

- | | |
|-------|---------------|
| イ、未 定 | 午前 9:00—10:00 |
| ロ、〃 | 〃 10:30—12:00 |

晝 食

- | | |
|-----------|--------------|
| ハ、吾孺精鋼所 | 午後 1:30—2:30 |
| ニ、千住鐵鋸製造所 | 〃 3:20—4:00 |